

スライド作成のABC

医学生・初期研修医が研究発表、学会発表、勉強会などに参加するに当たって避けて通れないのがスライド作成です。見やすく、わかりやすいスライドを作るには、どうすれば良いのでしょうか？
初學者でも修得できる“一生モノ”のエッセンスを本連載で学びましょう！

Lesson 06 図や表で表す

柿崎真沙子

名古屋市立大学大学院医学研究科医学・医療教育学分野 講師

文章だけではわかりにくい説明も、図や表にまとめるとわかりやすくなるのがよくあります。

箇条書きを表でさらに整理する

例えば地域別や組織別に項目を羅列している場合、箇条書きにするだけでもかなりわかりやすくなりますが、箇条書きを項目ごとにまとめて表にすると、比較がしやすくなり、さらに見やすくなる場合があります。異なる項目について年次比較をする時、種類別に示したい時や分類が必要な時も、表にするとわかりやすくなります。

自分で文章を書いてみて「あれ？これ表にした方がすっきりするのでは？」と思ったら、いきなりパワーポイント上で作ると大変なので、ざっとノートやメモ帳に概要を書いてみると良いと思います。「こんな感じならいけそう」となったら、実際にパワーポイントで作ってみましょう。その際、気を付けるのは表の中のフォントが小さくなりすぎないようにすること、項目を整理することなどです。せっかく見やすくするために表を作るので、表にしたこ

とでかえって視認性が悪くなるのは避けたいですね。

図はわかりやすさとシンプルさを意識する

一方で、図だけを載せても説明がないと何の図なのかわかりにくいこともあります。その時々で、図だけを示す、図と説明を一稿のスライドに入れる、と使い分けると良いでしょう。

図の上下はそれぞれ同じ内容を示しています。最初は上の数字のみの図を使っていたのですが、これだけで説明していても「ぱっと見てわかりにくい……？」と思い、顔のアイコンがたくさんある下段の図を作りました。このように、数値の大小などをアイコンの数や大きさで表すと、ぱっと見て大小が把握しやすく、わかりやすくなります。

また、流れをわかりやすくするため、元は箇条書きにしていた事柄をフローチャートに起こすこともよくあります。わざわざフローチャートを作らなくても、箇条書きの項目と項目の間に矢印を入れ、流れがわかるようにするだけでも、理解度が上がると

思っている情報を加え、横へ流れるチャートを縦にするなど変更し、自前で作ることが多いです。

とはいえ、図に起こすことはなかなか難しいと思いますので、①まずは言いたいことを箇条書きにしてみる、②流れがあるなら矢印のオブジェクトなどを追加してみてもわかりやすくなる、③分岐も出てきてどうやらフローチャートにしたほうが良さそうだなと思ったらフローチャートを作ってみる、といった順番で作成してみると良いと思います。また、数値を表にただの場合や増加や減少といった表現がある場合、数値をアイコンの個数や大きさに変えてみたり、増加は上向き矢印、減少は下向き矢印などを加えてみたりするだけでもわかりやすくなります。あまりごてごて矢印を加えすぎても見栄えが悪くなってしまいますので、バランスを大事に、もともとのスライドに少し何か加えてみるころから始めてみることを勧めます。

慣れてきたら、教科書や技術書、省庁のWebサイト、さまざまな組織や機関のWebサイトなどを見て、わかりやすい図を少しだけ記憶にとどめておく習慣をつけると良いかもしれません。その際、なぜわかりやすいと感じたかを考えてみましょう。単に文章の流れと図の流れが合っている、合っていないというだけでもわかりやすい、わかりにくい、の差が出たりしますので、実際作ってみる際には気をつけましょう。また、参考にする場合は引用元を明記することも大事ですのでその点も忘れないようにしてください。

表も図も自分で作る

連載第5回「表やグラフを作る」(本紙第3544号)でもお伝えしましたが、他の資料から図表をコピーしてくるよりも、実際にパワーポイント上で自分で図を作成しましょう。縮尺の問題もありますが、報告書や論文で用いられている図は情報量が多い場合もあるため、発表の対象者に合わせて適切な情報量のものを作成し直したほうが見やすくなります。疫学や公衆衛生学の分野では、対象者の選定をフローチャートで書くことが多いですが、こちらも論文で使用したフローチャートをそのまま載せるのではなく、パワーポイントに起こして書いたほうが視認性も良くなりますので、今まで論文に掲載したものをそのまま使っていた方は、こういった論文に掲載している図表から作り直すことから始めるとやりやすいと思います。

数字で示した場合

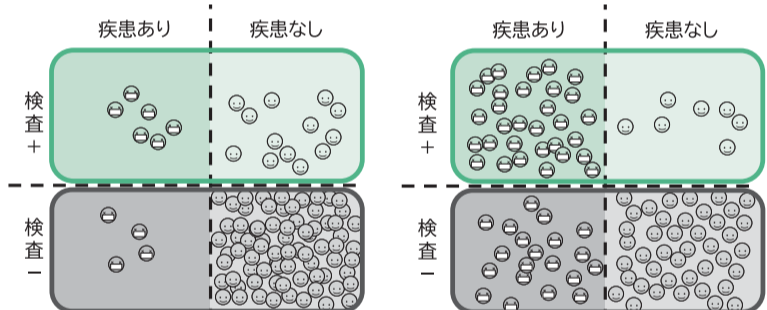
検査前確率(=有病率)10%

| | | 疾患 | | |
|----|---|------|------|-------|
| | | あり | なし | |
| 検査 | + | 600 | 45 | |
| | - | 400 | 8955 | |
| | | 1000 | 9000 | 10000 |

検査前確率(=有病率)50%

| | | 疾患 | | |
|----|---|------|------|-------|
| | | あり | なし | |
| 検査 | + | 3000 | 3 | |
| | - | 2000 | 4997 | |
| | | 5000 | 5000 | 10000 |

アイコンで示した場合



●図 アイコンを使って見やすく

感度60%、特異度85%の検査の場合を例に、事後確率は事前確率に左右されることを示すスライドで用いた図のブラッシュアップ前(上)とブラッシュアップ後(下)です。検査前確率が変わると得られる検査結果が変わることをぱっと見でわかりやすくするため、数字ではなく顔のイラストのアイコンを用いました。

図やフローチャートについては、パワーポイント内、挿入タブにあるSmartArtを使うこともありますが、設定によっては図形の色がグラデーションになっていたり、テキストもデフォルトのままだったりします。連載第3回「スライドの背景とフォント」(本紙第3536号)などを参考に、あまり複雑な図やフローチャートにせず、見やすく整えていただくのが良いと思います。

フローチャートは箇条書きからブラッシュアップしていく

フローチャートは前項で取り上げた通り、SmartArtで「これがいいかも」と思うものがあればそれを使って作ることが多いです。私は各省庁の資料を参考にフローチャートを作成することが多いですが、省庁の資料にはかなり細かく記載がされており、1枚の情報量が多くなっています。必要ない情報は削り、また、こちらが追加したいと

GM ジェネラリストのための **第3版**
内科外来マニュアル
編集 金城 光代・金城 紀与史・岸田 直樹

待望の第3版!
いつも頼りになるのはコレだ!!

**内科外来の
トップマニュアルに
待望の第3版が登場!**

▼詳細はこちら

●A5変型 2023年 頁880 定価:6,600円(本体6,000円+税10%) [ISBN978-4-260-04266-6]

**内科レジデントの
鉄則 第4版** 編集 聖路加国際病院
内科チーフレジデント

多くのレジデントに読まれてきました。
**研修医になったら
まずコレ!**

▼詳細はこちら

いよいよ改訂第4版!
実臨床で役立つ多くの「鉄則」を
教え上手の著者がわかりやすく解説
全国の初期研修医に最も読まれています!!

●B5 2023年 頁512 定価:5,280円(本体4,800円+税10%) [ISBN978-4-260-05119-4]

医学書院

**医療者の
スライド
デザイン**

プレゼンテーションを進化させる、デザインの教科書

小林 啓

●B5変型 2023年 頁200 定価:3,740円(本体3,400円+税10%) [ISBN978-4-260-04773-9]

デザイナー兼現役医師による、医療系スライドをデザインの視点から徹底的に解説する指南書。伝わるデザインにはルールがあり、ポイントを押さえることで医療のプレゼンテーションは大きく改善します。デザインの理論だけでなく、幅広い職種に応じた多くの実例スライドを紹介し、BEFORE / AFTER形式で具体的に理解することができます。演習問題や実例スライドを特設サイトからダウンロードし、手を動かすトレーニングが可能です。スライドの他にも、研究ポスター、チラシ、オンラインプレゼンテーションなど、医療者が直面するデザインを見やすく、伝わりやすくするためのテクニックを多数紹介します。

Contents

- Chapter 1 準備をする
- Chapter 2 整える
- Chapter 3 余白
- Chapter 4 配色する
- Chapter 5 画像にする
- Chapter 6 時間を操る
- Chapter 7 デザイン事例集
- Chapter 8 オンラインプレゼンテーション
- Chapter 9 医療とデザインの可能性

▼詳細はこちら

医学書院